

私達は今アメリカ合衆国に住んでいます。この国ではご承知の通り、ほとんどの人が英語を話します。ところが私にとっては英語を習得するのは容易ではありません。中学生の頃は英語の勉強が好きでしたが、高校に入学して文法の教科書（飾り気のない深緑色の表紙で、小さな文字が並んでいました）を開くと refrigerator という単語がありました。なんでこんな難しい本で、しかも発音しにくい言葉を覚えなければならないのか？と思ったら、英語が嫌になってしまいました。ですから、そんな私がアメリカに来て、アメリカの大学で勉強させて頂いたのは、神様の導きに他なりません。

外国人として暮すと、様々な言葉の壁にぶち当たります。ある宣教師は日本でマクドナルドに行った時トイレに行きたくなったのですが、場所を聞くのに正しい日本語を思い出せなかったそうです。トイレのことを英語では bathroom と言いますから、彼女は日本語で「お風呂」と思い、店員に「すみません、お風呂はどこですか？」と尋ね「ありません」と言われたそうです。また、ある男性の宣教師は日本語の勉強中に、シンガポールで日本の女性に出会ったので日本語の練習を兼ねて挨拶しました。「始めまして。私の名前は〇〇です。日本に宣教師として行く予定です。どうぞ夜です。」相手の女性はギョッとされたそうです。彼は「どうぞよろしく」と言いたかったのです。このような失敗は大した問題にはなりません。でも私達は得意なはずの母国語を話していても言葉で失敗し、時には人を傷つけてしまいます。また、もしかしたら悪意がどこかにあって傷つけてしまうのかもしれない。イエス様は「口から出るものは心から出ます。それは人を汚します。（マタイ15：18）」とおっしゃいました。これは怖いことですね。人を傷つけてしまったことに自分で気付くこともありますが、気付かないままのものもあるかもしれません。ですから気付いたことも気付かないままの過ちも神様に赦して頂きましょう。

「自分の口と舌とを守る者は自分自身を守って苦しみに会わない（箴言21：23）」という聖書の言葉の通りになりますよう私達をお守り下さい。



復活と使命

マタイの福音書 28:1-20

ジョエル・ラブストランド牧師

使命をもつことは私達に与えられた人生を有効に生きるのに役に立ちます。今日の説教題をみたら「何の使命？」と思われたかも知れません。英語で使命のことを「mission」と言います。同じ英語の言葉が宣教という意味で使われるのは福音を伝えることがクリスチャンの最も重要な使命の一つだからだと思います。イエス様は御自分の復活のゆえに使命を与えて下さいました。その使命の内容を詳しく説明することが今日のメッセージの目的ではありませんが本文に入る前に簡単に一つの質問に答えたいと思います。この使命は誰に与えられましたか。16節を見ると11人の弟子と書いてありますが現代のクリスチャンに当てはまらないのでしょうか。そうではないと思います。使徒達がその使命を完成させませんでした。まだイエス様の弟子になっていない民族がいます。20節に「世の終わりまで、いつも、あなたがたと共にいます。」とイエス様がおっしゃったことが書かれています。世の終わりがまだ来ていないのにその使命を最初に受けた人達は皆死にました。実はこの使命はまだ有効だと思います。あの時代の弟子だけではなく、11人の弟子を

代表として教会全体に与えられた使命だと思えます。私達にも与えられています。私達も福音を伝える使命を受けているのです。宣教師や伝道師にならなくても責任があります。自分が置かれた所でイエス様についての素晴らしい知らせが伝えられるし教会の宣教運動によって世界のすべての人にその福音を聞くチャンスが与えられるように努力できます。

それでは、この使命はイエス様の復活とどういう関係があるでしょうか。19節を御覧になって下さい。「それゆえ」と書いてありますね。何の故にと言うと18節に書いてある権威の故です。つまりイエス様の復活による権威のゆえに私達は人々をイエス様の弟子にする使命を与えられています（比エペソ1：20～21、ピリピ2：9～10）。

今日の聖書箇所を見ると私達が受けている使命はイエス様の復活による権威に基づいている四つの点が見いだせます。第一にイエス様の復活の故に私達は福音の事実に確信をもてます。イエス様の復活は御自分が神様の御子でおられることの証拠になります（ローマ

1 : 4)。しかし、それはそうとしても、どうして私達が見たことも無いこんなに偉大な奇跡が信じられるのでしょうか。まず何人もの目撃者の証言が一致しているので信じられます。四つの福音書にもイエス様の復活の話が書かれています。そればかりではなく、実は新約聖書のすべてがイエス様の復活に基づいています。8～9人の著者によって書かれたのに一致しています。そして聖書の著者以外の目撃者が沢山いました。12人の弟子は皆イエス様の復活の目撃者でした。そして他にも大勢いたらしいです。第一コリント人への手紙15 : 6によりますとイエス様が一度に500人以上の信者に現れました。こういった目撃者は熱心に復活の話を伝えました。殆どの使徒は殉教者になりました。殺されると脅されても続けてその復活の話を広めました。嘘のためならそんなに激しい迫害には耐えられなかったと思います。

そして目撃者以外のもう一つの理由はイエス様が死なれた後の出来事他の説明は道理にかなわないからです。ある人は11人の弟子が幻覚を見たのだらうと言います。けれども弟子達にはそんな精神的な異常がなかったようですし、例えば数人の弟子がたまたま同じ時に幻覚を見たとしても同じ幻覚を見たはずはありません。弟子達は実は信じるのに遅かったのです。何でもすぐに信じてしまうような人ではありませんでした。ある人は、イエスは気絶しただけで死ななかったのだと言います。けれども、これも道理にかないません。イエス様を十字架からおろす前にあるローマの兵士が槍でイエス様のわき腹を突き刺しました。すると血と水が出て来ました(ヨハネ19 : 34)。十字架にかけられたイエス様が生き残ったとしてもそんなに弱った状態で重い石を転がして裸でローマの兵士から逃げて、そして御自分が死より勝利を得た神様の永遠の御子だと人を説得できたはずがありません。

ある人は弟子達が墓の場所を間違えたと言います。けれどもマグダラのマリヤと他のマリヤはイエス様の死体がどこに置かれたかを自分の目でみました(マタイ27 : 61)。弟子達がただ死体の場所を間違えたとしたら復活を信じない人が死体を捜し見つけたはずですが、それからもし死体がなくなったとしてもそれはイエス様の死後の表れの説明にはなりません。

第二にイエス様の復活の故に福音がすべての人間に当てはまるのが私達に分かります。18節に「天に



おいても地においても、一切の權威」がイエス様に与えられていると書いてあります。メシヤはユダヤ人だけの王ではありません。すべての人間より權威をもっています。神様がお一人でおられるように、神様への道でおられるキリスト(メシヤ)は唯一の道です。19節に「あらゆる国の人々を」弟子とするようにとのイエス様の命令があります。キリスト教はただ欧米の宗教ではありません。アフリカ人だけの宗教ではありません。韓国人だけの宗教ではありません。ただの宗教ではないのです。イエス・キリストが全ての人間の必要としている唯一の神様への道です。誰でも福音を受け入れるべきです。イエス様はユダヤ人だけの主ではありません。すべての人間の死後の審判官となりました。イエス様の復活がその証拠です(使徒17 : 29～31)。

第三にイエス様の復活の故にクリスチャンは御国が広がるのに必要な力が与えられる確信を持てます。会社では自分の責任を果たすのに必要なものが貰えなかったらいらいらしますね。会社の為に力を尽くしたい気持ちがあっても必要な道具や訓練が与えられなかったらなかなかできません。しかしクリスチャン生活はそういう心配はありません。「一切の權威」(18節)がイエス様に与えられたのです。すべての力がイエス様の御手にあるはずで、私達がイエス様に属しているなら私達にも力が与えられています。エペソ人への手紙1 : 19～20によると私達に与えられる力はイエス様を復活させられた全能の神様の力です。

イエス様は罪人を救う權威があるので私達が福音を伝える時その言葉は空しくありません。キリストがその言葉を用いて下さり、罪人を救って下さるのです。救いに定められた人は皆福音を信じて罪から救われます。イエス様は言われました。「私の羊は私の声を聞き分けます。また私は彼らを知っています。そして彼らは私について来ます。」(ヨハネ10 : 27) 同じように使徒の働き13 : 48に「永遠の命に定められていた人達は、皆、信仰にはいった。」と書いてあります。私達クリスチャンの受けた使命は必ず果たせるものです。

第四にイエス様の復活の故にイエス様がいつも共におられる励ましを受けます。20節にイエス様は言われます。「私は世の終わりまで、いつも、あなたがたと共にいます。」クリスチャンはイエス様に決して見捨てられません。人間として苦しみを経験して下さったイエス様は私達の誘惑を良くご存知で私達をそれか

ら救って下さいます（ヘブル4：15）。子供は親の愛情を受けることによって順調に成長し、自信をもてるようになると言われていました。逆に親に捨てられた子供は色々な精神的な異常がでてくるらしいです。私達はイエス様に見捨てられる心配はありません。イエス様は私達の大祭司としていつも神様の前で私達の為に執り成して下さい（ヘブル7：24～25）。これがクリスチャンの最大の励みだと思います。イエス様が共におられる確信があったら大丈夫です。迫害されても耐えられます。侮辱を言われても恥と思いません。福音がすぐに受け入れられなくても忍耐をもって続けて福音を伝えられます。なぜ大丈夫でしょうか。イエス様は死より打ち勝たれた方でおられるから

例え私達が福音のために殺されたとしても永遠の命を得ます。そしてイエス様が最後の審判官ですから人が私達の行動についてどう思ってもイエス様が喜ばれるなら結構です。

イエス様の復活のおかげで私達は福音の真実に確信をもてます。福音がすべての人間に当てはまるのが分かります。文化や宗教の背景にかかわらず全ての人がイエス様を主として認めるべきです。イエス様を通してでなければ神様に近付くことはありません。この福音が述べ伝えられるように必要な力が与えられる確信をもてます。イエス様はいつも付いて下さいますから絶望しないで下さい。私達に与えられた使命は必ず果たせます。

心のマッサージ

ユダヤ・ジョーク集 株式会社ミルトスホームページより

かゆくてたまらない

ある日、ロシアのレンベルクの町で金持ちの商人が家の窓から外を眺めていると、おかしい光景が目に入った。みずばらしい身なりの男が、垣根に背中をこすりつけているのだ。

かわいそうに、背中がかゆいらしい、そう思うと金持ちは、男を家に呼んで泣き言を聞いてやった。

「何ヵ月も風呂に入っていないんです」 哀れな男は訴えた。

「下着も一枚も持っていないし、腹ぺこで釘だって食べられるほどなんです！」

金持ちは男の窮状を聞き、ほろりとして涙を流した。そして食べ物とワインを出し、下着を与え、その上、風呂代として少額の銅貨を渡した。それから、神のお恵みがあるように、と言って男を帰した。

金持ちがたいそう親切なことをしたというニュースは、たちまちレンベルク中に広まった。さっそくその日、二人の乞食が金持ちの家に来て、哀れっぽく泣き叫びながら、垣根に背中をごしごしとこすりつけはじめた。

金持ちは乞食達の声を聞き、窓の所にやって来て、二人の乞食がしていることを見ると、ひどく腹を立てた。

「とっとと消えろ、この恥知らずの乞食どもめ！」金持ちは怒鳴った。

「私の家の垣根でその汚い背中をこするのをやめろ！」

「さっきはかゆがっている男を助けたっていうのに、どうして今は私達を助けてくれないんですか」乞食達は非難するように尋ねた。「さっきの男と私達とどこが違うっていうんですか。私達だってかゆいのに」

「背中がかゆいという男なら誰でも助けなきゃいけないって言うのか」金持ちはいっそう腹を立てて怒鳴った。

「さっきかゆがっている男を助けたのは、その哀れな男には背中をかいややる者がいなかったからだ。だが、不器用なばか者ども、お前達は二人いる。お互いに相手の背中をかけばいいではないか！」

どちらのケーキ？

高名なラビの家に二人の弟子が訪ねて来た。

ラビの奥さんは二人に紅茶とケーキを出し、少し待つように告げた。ところが一方のケーキは大きく、もうひとつはひどく小さかった。

「お先にどうぞ」「いやいや、あなたこそお先に」「とんでもない、あなたが先に」

二人はしばらく譲りあっていたが、とうとう一人がケーキを取った——大きい方を。

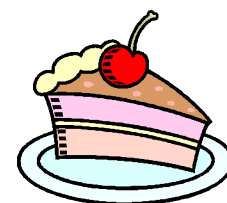
もう一人の弟子は激しく抗議を始めた。

「何ということですか！大きいほうを取るなんて」

「じゃあ、もしあなたが先に選んだとしたら、どちらのケーキを取りましたか？」

「もちろん小さいほうに決まっています」

「では何が不満ですか。あなたはちゃんと小さいほうを取ったのですから」



宇宙の年齢 1

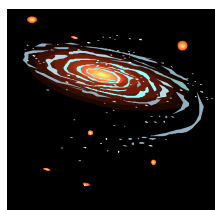
「ニュージーランドのビクトリア大学と名古屋大学の研究チームが重い天体の周囲で空間がゆがみ、光が曲がる重力レンズ効果を利用する新手法で惑星を探索、これまでに見つかった太陽系外惑星より約100倍も遠方にあるという惑星を発見した。この惑星は、いて（射手）座の方向にあり地球から約1万7000光年離れている。」（2004年4月27日サンケイ新聞記事）

宇宙は、その誕生以来急激に膨張している、そして宇宙の年齢は約137億年だと言われています。しかし本当に宇宙はそんなに古いのでしょうか？聖書は宇宙がもっと若いことを示唆しています。これから2回にわたって科学者達の推定に対して疑問を呈し、皆さんの判断の資とさせて頂きたいと思います。

まず宇宙の年齢や天体の距離の推定には多くの仮定が含まれているほか、大変重要な問題に目を閉じています。それはニュートン力学の考え方で、光が重要な役割を果たす宇宙の問題を説明しようとしていることです。宇宙のようなマクロなものはニュートン力学で推し量ってはならないのではないのでしょうか。

ある百科辞典は次のように説明しています。「超高温・超高密度のビックバン宇宙が、膨張・冷却する過程で銀河や星が誕生しました。そして宇宙は今も膨張しています。もし現在の膨張速度（ハッブル定数）が分かれば、反対に宇宙を縮めていき、大きさがゼロになるのに必要な時間を求めることができます。つまりこの時間こそ、現在の宇宙の年齢ということになります。そのためハッブル定数を求めることが、現在の宇宙論の最も重要なテーマの1つとなっています。」

膨張速度（ハッブル定数）を決めることができれば宇宙の年齢を決定できると考えられているわけですが、ここに少なくとも二つの大きな問題があると思います。一つは距離測定の問題、もう一つは速度と時間の問題です。



冒頭の記事のように、天文学者達は必死になって遠くの星を探していますが、何故でしょうか？それは私達の太陽系が宇宙のほぼ中心にあるあると考えられているため、宇宙が膨張していると仮定すれば、一番遠い星が宇宙で一番古い星ということになります。そこで一番遠い星を発見し、その距離を測れば逆算して宇宙の年齢が決定できるはずだと考えられているからです。

まず地球が宇宙の中心に位置しているという考え方で、シャーロットで一番高い建物の上に乗って周りを見渡せば、自分が中心にいるような気がします。アトランタで同じことをしても、そこが中心のような気がします。つまり地球から観測できる星は、どの方向にも同じ距離まで観測できるはずですが、天文学ではそのような単純な理由で太陽系が宇宙の中心にあると考えているわけではなく、星の移動方向と速度などを観測した結果ですが、もし宇宙が膨張していれば地球が中心にあってもなくても、観測できる星を見た限りでは同じ結果が出ると言えます。

さて一番遠い星を発見し、その距離を測るということですが、次のような問題があります。ニュートン力学の世界（私達が通常考える世界）では屈折の場合を除いて光は直進しますから、私達が見る物は、見える位置にあります。ところが宇宙では、冒頭の新聞の記事のように空間のゆがみによって光は直進しないので、見えた物がその位置にあるとは限りません。ボールの中に豆を一粒置き、それを箸で突き刺そうとしてご覧になると私の言いたいことが良くお分かりになると思います。見える位置にないので簡単には当たりません。これは空気と水の境目で光が曲がるからです。同様に宇宙でも光は曲がります。一番遠いと思った星が実はすぐ近くに有ったということになりかねないのです。アインシュタインは次のようなことを言っています。「もし、どこまでも見える望遠鏡をのぞくと自分の後頭部が見える。」

教会までの距離を言う時、地図の上でその二つを直線で結んで得た距離を言う人はまず居ません。実際に車で行く距離と違うことが分かりきっているからです。車で行く時は曲がりくねった道を走っていかねばならず、直線距離より大分遠くなります。星の距離を測るのもこれと同じことが言えないのでしょうか。空間がゆがんでいるので光はまっすぐに進めません。測定距離は実際の距離より随分遠いと思われるます。

（次号に続く）

片山進悟

お知らせ

日本人ミニストリーでは、日本で宣教師として奉仕されるラブストランド牧師を支援するためのヤードセールを5月15日に計画しています。献品して頂ける方は、5月14日までに片山又はお知り合いのメンバーまでご連絡下さい。また、ショッピングによりご協力頂ける方は、15日午前7時から12時の間に、10828 Maryfield Lane, Charlotteにお越し下さい。



毎月第2と第4火曜日9時半から、R109号室でイクレシアの会という、肩のこらない形での聖書の学びと楽しい交わりの集まりをしています。どなたでもお気軽にどうぞ。お問い合わせは片山姉まで。電話番号が変わり704-243-4670になりました。

日曜日午前9時半からA231号室で高見憲次兄、宮本翼兄による成人向け日曜学校、11時からR109号室でラブストランド牧師による礼拝、また月曜日午後7時からA238号室でラブストランド牧師による聖書の学が行われています。世界のベストセラー、聖書をご一緒に学び、また日本人同士のフェローシップの時間と致しましょう。

「いのちの泉」は、シャーロット在住の日本人のコミュニケーションのための月刊紙を目指しています。皆さんも、どうぞ奮ってご参加下さい。お互いの向上に役立つための趣旨に賛同して下さる内容であれば何でも結構です。

Carmel Baptist ChurchのJapanese Ministry 宛、または charlottejpn@hotmail.com にお願ひします。

カーメル・バプテスト教会
1145 Pineville-Matthews Rd.
Matthews, NC 28105
<http://ifc26.tripod.com>

モルモン教、エホバの証人（ものみの塔）、
統一教会とは関係のない、正統的なキリスト
教会です。安心して気軽においで下さい。

日本人ミニストリー連絡先：
李牧師 (704-847-8575)
ラブストランド牧師 (704-849-8851)
片山 (704-243-4670)